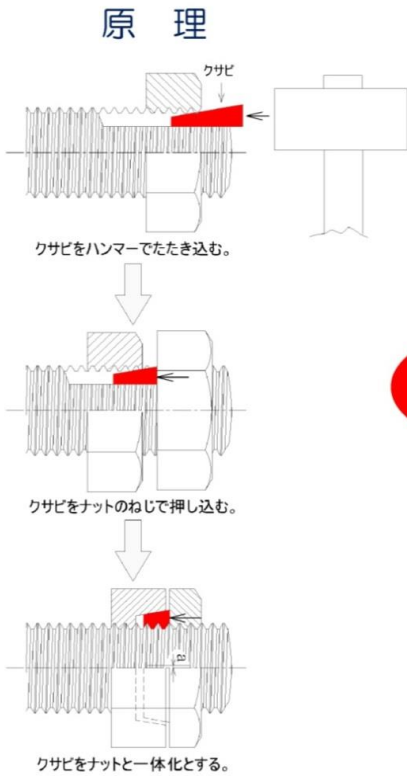
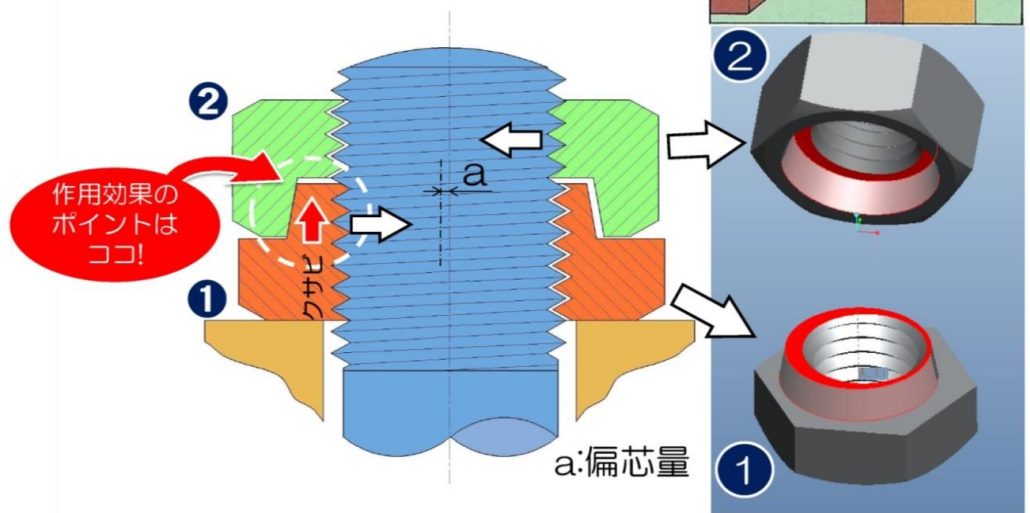


HARDLOCK® NUT 取扱説明書

日本古来の「クサビ」の原理を用いたゆるみ止め構造とは!



1 偏芯加工を施した凸ナット①と真円加工を施した凹ナット②を組み合わせ、クサビの原理によりボルトの中心方向に強力な応力を発生させます。



2 ハードロックナットの強力なゆるみ止め効果はボルトとナットを完全に一体化させており、いかなる振動、衝撃にも対応できます。

取付手順



取付け部材にボルトを通し、凸ナットをセットして下さい。



一般工具(スパナ等)で締結して下さい。



締付けられた凸ナットは、この時点で一般ナットと全く同じ強度です。



次に凹ナットを、手でセットして下さい。この時に凹凸ナット隙間が1ピッチ程度ある事を確認して下さい。



凸ナット同様、凹ナットを締結して下さい。(凹ナット参考締付けトルク参照)



ご使用のボルト状態により凹凸ナットが密着・非密着する場合がありますが緩み止め効果は十分に内在されております。

	凸ナット締付けトルク	凹ナット参考締付けトルク(推奨締付けトルク)
M24	196N・m	160~300N・m (196N・m)
M30	294N・m	270~440N・m (294N・m)

取外し手順



1 使用中のハードロックナットのサイズなどを確認し、適切な工具を用意します。インパクトレンチは使用しないで下さい。



2 用意した工具を用い凹ナットを取外します。錆などが発生している場合は浸透性の良い減摩材を塗布して下さい。供回り防止の為、凸ナットも工具で止めて作業して下さい。



3 戻しトルクが掛からなくなったら、手で戻しても構いません。



4 凹ナット同様、錆などが発生している場合は浸透性の良い減摩材を塗布して下さい。



5 用意した工具を用い凸ナットを取外します。インパクトレンチは使用しないで下さい。



6 戻しトルクが掛からなくなったら、手で戻しても構いません。

使用上の注意事項

ハードロックナットを再使用される場合は、凸ナット締付け後、凹ナットを凸ナットにあたるまで手締めした状態での隙間を確認して下さい。隙間が1ピッチ程度あれば再使用は可能ですが、万一隙間がない場合は、再使用はご遠慮下さい。